

2010年2月5日

バンテック、2010年3月期 第3四半期決算を発表

— コスト圧縮と合理化策の進捗で、2四半期連続して営業黒字が拡大 —

株式会社バンテック(本社:横浜市、社長:山田 敏晴)は5日、2010年3月期第3四半期累計(09年4-12月)の決算を発表した。

2010年3月期の第3四半期決算のポイントは以下の2点。

- (1) 2009年10-12月の営業利益は、同7-9月に比べ53%増と、2四半期連続して黒字幅が拡大
- (2) 通期の連結売上高予想を下方修正も、営業利益、経常利益は当初予想の修正なし

<第3四半期の決算> 2四半期連続して利益が拡大、累計の前年同期比のマイナス幅も縮小

09年10-12月は、売上高が304億7300万円、営業利益が19億4700万円と、同7-9月に比べそれぞれ9.3%増、53.3%増の増収増益となった。経常利益も同59.5%増、四半期純利益も同31.7%増。主要顧客の自動車生産・輸出船積台数、航空貨物の輸送量が回復基調にあったことと、昨年7月以降本格化した合理化や経費削減策の進捗によるもの。四半期ベースでは2四半期連続して増収増益となり、好転の基調も確かなものとなった。

一方、第3四半期累計(09年4-12月)の実績は、売上高823億200万円(前年同期比29.2%減)、営業利益28億5500万円(同8.1%減)、経常利益30億5100万円(同13.2%減)、四半期純利益19億2300万円(同6.2%減)と減収減益となった。ただ、第2四半期累計に比べ、前年同期比の減収幅及び減益幅は大幅に縮小している。

<2010年3月期の連結業績予想> 通期連結売上高予想を下方修正も、利益見通しは変わらず

10年1-3月は、当初予想に比べ売上高の回復テンポが緩やかなことから、通期の売上高は当初見通しの1,200億円から1,120億円(前期比20.2%減)に下方修正する。主要顧客の生産・輸出動向や日本発着の国際貨物の動向をはじめとした当社の経営を取り巻く環境については、決して楽観視できる状況にはないが、引き続き合理化効果が見込めることから、営業利益40億円(同90.1%増)、経常利益40億円(同64.2%増)、当期純利益20億円(同451.1%増)の増益予想は変更しない。

・2010年3月期 四半期(3ヶ月間)決算の推移 (単位:百万円)

連結決算	第1四半期 (2009年4-6月)	第2四半期 (2009年7-9月)	第3四半期 (2009年10-12月)
売上高	23,955	27,874	30,473
営業利益	△362	1,270	1,947
経常利益	△289	1,287	2,053
四半期純利益	△125	884	1,164

・2010年3月期 第3四半期(9ヶ月間)の連結決算の概要 (単位:百万円)

連結決算	第3四半期累計 (2009年4-12月)	前年同期 (2008年4-12月)	前年同期比	増減(%)
	(A)	(B)	(A)-(B)	
売上高	82,302	116,284	△33,982	△29.2
営業利益	2,855	3,107	△251	△8.1
経常利益	3,051	3,515	△463	△13.2
四半期純利益	1,923	2,050	△126	△6.2

以上